

2019（平成31）年度3年次編入学試験募集要項

1 募集人員：外国語学部外国語学科 10名※

専攻名	
中国語専攻	スワヒリ語専攻
朝鮮語専攻	ロシア語専攻
モンゴル語専攻	ハンガリー語専攻
インドネシア語専攻	デンマーク語専攻
フィリピン語専攻	スウェーデン語専攻
タイ語専攻	ドイツ語専攻
ベトナム語専攻	英語専攻*
ビルマ語専攻	フランス語専攻
ヒンディー語専攻	イタリア語専攻
ウルドゥー語専攻	スペイン語専攻
アラビア語専攻	ポルトガル語専攻
ペルシア語専攻	日本語専攻*
トルコ語専攻	

※選考の結果、募集人員に満たない場合でも、合格としないことがあります。

*英語専攻又は日本語専攻を志願する者は、6頁の「5 出願に当たっての留意事項」を参照すること。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、志願する専攻言語^{※1}について、本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位を16単位以上^{※2}修得している者又は平成31年3月までに修得見込みの者

- ① 日本の大学、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者
- ② 日本の高等学校を卒業した者等で、かつ、次のいずれかに該当する者
 - ア 外国の短期大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者
 - イ 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を日本において修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者
- ③ 日本の高等学校を卒業した者等で、かつ、次の基準を満たす日本の専修学校の専門課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者
 - ア 修業年限が2年以上であること。
 - イ 昼間学科若しくは夜間等学科で、全課程の修了に必要な授業時間数が1,700単位時間以上であること、又は、単位制による学科であるもの及び通信制の学科にあつては、

全課程の修了に必要な総単位数が62単位以上であること。

- ④ 日本の大学に2年以上在学（休学期間は除く。）し、当該大学の卒業要件単位を62単位以上修得した者又は平成31年3月までに修得見込みの者
- ⑤ 日本の高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規程する者に限る。）
- ⑥ 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（外国において、最終の学年を含め2年以上継続して学校教育を受けた者に限る。）又は平成31年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者

※1 日本語専攻志願者については、「指定した専攻言語（「5. 出願に当たっての留意事項(2)参照）」を指す。

※2 出願資格予備審査において認められた単位に限ります。^(注)

本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位（修得見込みを含む。）については、20単位修得していることが望ましい。

なお、20単位に満たない者については、入学後に不足単位を修得しなければなりません。

(注) 出願資格予備審査において認められる本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位は、当該言語の会話、作文及び文法等について、実習（授業時間数30時間以上で1単位の科目）又は演習（授業時間数30時間以上で2単位の科目。ただし、授業時間数30時間で1単位の換算の上認定する。）形態で行われる授業科目の単位に限るものとし、講義形態で行われる授業科目の単位は含みません。

また、大阪大学又は大阪外国語大学で修得した単位（見込み含む）については、演習科目は含まないので注意してください。

3 出願資格予備審査〔3年次編入学試験出願予定者は必ず申請すること。〕

志願する専攻の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の修得単位（修得見込みの単位を含む。）について、出願資格予備審査を行います。この審査により志願する専攻の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位を16単位以上修得済み（又は見込み）であると認められた者で、かつ、「2 出願資格」の①から⑦までのいずれかに該当する者に限り出願することができます。

① 出願資格予備審査提出書類等*

書 類 等	摘 要
出願資格審査申請書	・ 本学部所定のもの（様式①及び②）
単 位 修 得 （ 見 込 ） 証 明 書 又 は 成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍（出身）大学長（学部長）等が作成し厳封したもの ・ 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・ 現在履修中又は履修予定の科目について、「単位修得見込証明書」が申請期間内に発行されない等の理由で提出できない場合は、別添「様式③：履修科目についての自己申請書【出願資格予備審査用】」を提出してください。（「単位修得見込証明書」が発行された場合は、速やかに提出してください。）

	<p>ただし、前年度までに修得済の単位については、必ず「単位修得証明書」又は「成績証明書（科目ごとの単位数が記載されたもの）」を提出してください。</p> <p>・婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。</p>
授 業 概 要	<p>・シラバス及び授業時間割等で、各授業科目の授業内容、授業形態及び総授業時間数（又は1回の授業時間数及び授業回数）が分かるもの</p> <p>(例：学生便覧等の該当事項が記載された頁の写し等)</p>
出 願 資 格 予 備 審 査 結 果 通 知 封 筒	<p>・本学部所定のもの</p> <p>・封筒の表面に、住所・氏名・郵便番号を明記し、速達簡易書留用として672円分の切手を貼付してください。</p>

提出後の書類の差し替えは認めません。

また、提出書類等に不足や記入漏れ等があると判断された場合は、理由のいかんにかかわらず「出願資格なし」とみなしますので、不備等がないか十分確認した上で提出するようにしてください。(特に「2 出願資格」⑥または⑦により出願しようとする者は、事前に提出書類等について学生支援係(Tel.072-730-5069)に確認するようにしてください。)

*** 本学部の「専攻語科目（実習）」に相当すると思われる授業科目についてのみ、提出してください。なお、提出書類が日本語以外の言語の場合は、必ず該当書類に、日本語訳を添付してください。**

② 出願資格予備審査申請期間：

平成30年8月27日(月)～8月31日(金)16時30分必着

申請期間内に郵送により到着したもののみを受け取ります。

ただし、期限後に到着した場合でも、8月29日(水)以前の日本国内発信局消印のある「速達書留」便に限り受け取ります。

③ 出願資格予備審査結果通知発送日：**平成30年10月10日(水)**

速達簡易書留郵便により結果をお知らせします※。なお、電話による問い合わせは一切受けません。

※：10月14日を過ぎても届かない場合、学生支援係までご連絡ください。

4 出願手続〔「3.出願資格予備審査」により、出願に要する16単位が認められた者のみ出願できます。〕

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書	<p>・本学部所定のもの〔様式A〕</p> <p>・写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを添付してください。(写真の大きさ縦4cm×横3cm)</p>

<p>単 位 修 得 (見 込) 証 明 書 又 は 成 績 証 明 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍 (出身) 大学長 (学部長) 等が作成し厳封したもの ・ 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・ 現在履修中又は履修予定の科目について、「単位修得見込証明書」が申請期間内に発行されない等の理由で提出できない場合は、別添「〔様式C〕：履修科目についての自己申請書【出願用】」を提出してください。(「単位修得見込証明書」が発行された場合は、速やかに提出してください。) ただし、前年度までに修得済の単位については、必ず「単位修得証明書」又は「成績証明書(科目ごとの単位数が記載されたもの)」を提出してください。 ・ 婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。
<p>大 学 等 の 卒 業 ・ 修 了 (見込) 証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2 出願資格」の①により出願する者のみ提出してください。 ・ 在籍 (出身) 大学長 (学部長) 等が作成し厳封したもの ・ 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・ 婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。
<p>高 等 学 校 の 卒 業 証 明 書 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2 出願資格」の②又は③により出願する者のみ提出してください。 ・ 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条に規定する者に該当する者であることを証明する書類
<p>大 学 に 編 入 学 す る こ と が で き る 専 門 課 程 で あ る こ と の 証 明 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2 出願資格」の③により出願する者のみ提出してください。 ・ 在籍している(していた)専門課程が、2の③のア及びイの基準を満たしていることを証明する書類
<p>在 学 証 明 書 又 は 在 学 期 間 証 明 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2 出願資格」の④により出願する者のみ提出してください。 ・ 入学年度が明記されたもの。休学期間がある場合は、休学期間が明記されたもの。
<p>高 等 学 校 等 の 専 攻 科 の 課 程 修 了 (見込) 証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2 出願資格」の⑤により出願する者のみ提出してください。
<p>学 歴 調 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2 出願資格」の⑥又は⑦により出願する者のみ提出してください。(様式任意) ・ 小学校入学年次から記入してください。

志 望 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定のもの〔様式B〕 ・志願する専攻言語で記入してください。なお、日本語専攻を志願する外国人留学生は、日本語で記入してください。 ・下記(注)1参照
外部検定試験の「合格通知書」又は「スコアシート」の写し等	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語専攻」志願者又は「日本語専攻（専攻言語「英語」「日本語）」志願者のみ提出してください。 ・6頁の「5. 出願に当たっての留意事項」の※1又は※2に該当する証明書
検 定 料 (30,000円) 下記(注)3参照	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項に綴じ込みの検定料振込依頼書により、平成30年10月12日から10月18日までの間に金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口でお振込みください。（ATM、インターネット等とは利用できません。） ・検定料納入証明書を必ず入学願書の所定の箇所にはがれないように貼付してください。 ・金融機関の収納印のない検定料納入証明書、及び検定料納入証明書貼付のない入学願書は無効とし、当該入学願書は受理しません。
受験票 (郵便はがき)	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定のもの ・はがきの表面に住所・氏名・郵便番号を明記し、速達料金として342円分の切手を貼付してください。なお、裏面は受験票になっているので、太枠内に志願専攻・氏名等を忘れず記入してください。

(注)1 志望理由書の作成にはワープロ等を使用しても差し支えありませんが、志望理由書に貼付する場合は、該当枠内に収まるように貼り付けてください。

2 提出書類が日本語以外の言語の場合は、必ず日本語訳を添付してください。

3 納付された検定料は、次の場合を除き返付しません。

(1) 出願書類を提出しなかった場合又は受理されなかった場合

(2) 検定料を誤って、重複して振り込んだ場合

(3) 出願を受け付けた後において、出願資格のないことが判明した場合

(2) 出願期間 平成30年10月15日（月）～10月19日（金）16時30分必着

出願期間内に郵送により到着したもののみを受け取ります。

ただし、期限後に到着した場合でも、10月17日（水）以前の日本国内発信局消印のある「速達書留」便に限り、受け取ります。

(3) 出願方法

出願書類一式を、本学部所定の出願用封筒に入れ、「速達書留」便で郵送してください。

なお、直接持参されても受理しませんので、郵便事情を十分考慮の上、早めに発送してください。

5 出願に当たっての留意事項

- (1) 志願者は、専攻を指定してください。※1
- (2) 日本語専攻では、「専攻語科目（演習）」として、25言語の内一つの専攻言語を卒業までに8単位以上履修する必要があるため、日本語専攻を志願する者は、出願時に本学部が開設する25言語から、一つの専攻言語を指定してください。
ただし、この専攻言語に「日本語」を指定することができる者は、外国人留学生※2に限ります。
(なお、外国人留学生は専攻言語に「日本語」以外の言語を指定することはできません。)
また、専攻言語「英語」を指定することができる者は、英語専攻を志願する者と同様に検定試験の基準を満たしている者※1に限ります。

※1 英語専攻を志願することができる者は、出願日までに下記のいずれかの基準を満たしている者に限ります。ただし、(2)及び(3)については、2017年4月以降に受験したものに限りります。

出願書類とともに、「合格通知書」の写し又は「スコアシート」の写しを提出してください。

- (1) 財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語検定準1級以上合格者
- (2) 財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会が実施するTOEIC (Test of English for International Communication)730点以上
- (3) Educational Testing Serviceが実施するTOEFL [Test of English as a Foreign Language] で、TOEFL(Paper)560点以上又はTOEFL(iBT)82点以上

※2 日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が2017年度又は2018年度に実施した「日本語能力試験（レベルN1）」に合格している者を対象とします。

出願書類とともに、「合格通知書」の写し及び「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。

6 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行う。
- (2) 学力検査の実施日程 実施期日：平成30年11月17日（土）

科目（配点）	時間	摘要
外国語（100点）	10：30～12：00	志願する専攻言語の試験を課します。 なお、英語のみリスニングテストを行います。
口述試験（50点）	13：00～	合格判定の対象とならないと判断されれば不合格とします。

- (3) 試験場

大阪大学外国語学部 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号
(箕面キャンパス) (裏表紙「所在地経路図」参照)

【重要なお知らせ】

外国語学部3年次編入学試験「朝鮮語、英語専攻、フランス語専攻」志願者及び「日本語専攻（専攻言語「朝鮮語」、「英語」、「フランス語」）」志願者に対する選抜方法の変更について

2021年度（平成33年度）入試〔平成32年11月に実施予定の入試〕より「朝鮮語専攻、英語専攻、フランス語専攻」志願者及び「日本語専攻（専攻言語「朝鮮語」、「英語」、「フランス語」）」志願者の試験科目「外国語」において、同専攻言語の外部検定試験を導入することを検討しています。

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成30年12月7日（金）11時から本学部研究・講義棟A棟前での掲示、及び外国語学部の下記ホームページにより行います。また、合格者には、合格通知書を送付します。（12月13日を過ぎても届かない場合、学生支援係までご連絡ください。）

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/admission/a_fs_info.html

なお、合格に関する電話による問い合わせには、一切応じません。

8 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願書類に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜（出願処理及び選抜試験実施）、合格者発表及び入学手続等の入試業務を行うために利用し、それ以外の用途では使用しません。
- (2) 入学者選抜に用いた試験の成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用し、それ以外の用途では使用しません。
- (3) 上記(1)及び(2)の業務での利用に当たって、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合、個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、知り得た個人情報の全部又は一部を、当該事業者に対して提供することがあります。

9 入学手続

合格者は、合格通知書に同封する「入学手続案内」に従い、次のとおり入学手続を完了してください。（詳細については、「入学手続案内」にてお知らせします。）なお、下記の入学手続期間中に入学手続を完了しない者については、入学を辞退したものとして取り扱います。

① 入学手続期間：平成31年3月12日（火）～3月14日（木）

② 提出書類：「入学手続案内」にてお知らせします。

③ 納付金：入学料 282,000円

授業料 年額 535,800円

(前期分 267,900円 ・ 後期分 267,900円)

(注)上記の納付金額は、予定額であり、納付金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

10 既修得単位の認定

入学前に大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学において修得した単位は、下表に定める単位数の範囲で、審査の上、本学部において修得したものとして認定されます。

なお、当該審査については、合格者を対象に別途お知らせします。

入学 種別	科目群	専門教育科目								卒業 論文
		専攻語科目			専攻科目		関連科目			
		1年 実習	2年 実習	演習	講義	演習	学部共通科目	研究 外国語	兼修 語学	
要件単位数		10	10	44		6	—	4	8	
		18								
編入学		10	10	—	4	—	10	4	—	

11 その他

- (1) 受験に関する問い合わせは、志願者本人が箕面事務室学生支援係に電話又は郵便で行って下さい。なお、郵便により問い合わせる場合は、返信先を明記した返信用封筒（82円切手を貼付のこと。）を同封してください。
- (2) 出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。
- (3) 出願書類受理後は、書類の差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納入された検定料は返付しません。
- (4) 障がい等のある者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望するものは、出願期間の初日（10月15日）までに、箕面事務室学生支援係へ申し出てください。
- (5) 受験上の注意事項
 - ① 試験室等については、試験当日、本学部研究・講義棟A棟1階エレベーター前のホールに掲示します。
 - ② 試験当日は、受験票及び筆記用具（黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。
 - ③ 受験票を忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。
 - ④ 口述試験の最終終了予定時刻は18時ですが、事情によってはそれより若干遅くなる場合があります。
 - ⑤ 試験当日は、学内食堂等は営業しておりませんので、昼食は各自で用意してください。